

総合試験問題例

【資格・免許職 保育士】

〔例題 1〕 二つの袋P, Qがあり, 袋Pには赤玉3個と白玉1個の計4個が, 袋Qには赤玉2個と白玉4個の計6個が入っている。いま, 二つの袋の中から玉を無作為に1個ずつ取り出すとき, 取り出した玉が赤玉と白玉1個ずつである確率はいくらか。

1. $\frac{5}{12}$
2. $\frac{11}{24}$
3. $\frac{13}{24}$
4. $\frac{7}{12}$
5. $\frac{2}{3}$

《正答 4》

〔例題 2〕 高齢者福祉に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 老人福祉法は、要介護状態又は要支援状態にある介護保険の被保険者に対して必要な保険給付を行うと規定している。
2. 介護保険制度では、在宅の要介護者には、居宅介護支援事業者の介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）を作成する。
3. 介護給付は、施設サービスと居宅サービスであり、通所介護は含まない。
4. 地域包括支援センターは、寝たきりの状態にある高齢者などに対して看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練などを行う施設である。
5. 介護保険で「要介護」と認定された者には、介護予防についてのケアマネジメントが実施され「予防給付」が支給される。

《正答 2》

〔例題 3〕 障害児の支援に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 障害児の支援においては、障害の特性による二次障害を予防する観点も重要であることを念頭に置いて支援を提供するとともに、エンパワメントを前提とした支援をすることが重要である。
2. 障害のある乳幼児の支援に当たっては、アタッチメント（愛着）の形成よりも家族への支援が特に重要である。
3. 障害児支援利用援助とは、保育所等に通う障害児又は児童福祉施設等に入所する障害児について、当該施設を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援その他の便宜を供与することをいう。
4. 障害児入所給付費及び障害児通所給付費の支給はともに市町村（特別区を含む。）の業務であると児童福祉法に規定されている。
5. 障害児入所施設は、近年、地域における障害児支援の中核的役割を担うことが明確化され、また、福祉型、医療型に分かれていた類型が一元化されて障害種別にかかわらず障害児を支援できるようになった。

《正答 1》